



かがやく瞳

令和4年度

2022.4.7

No. 2

ホープ キープ 咲かせましょう 夢の大花火を 古四王キッズ!

始業式で合い言葉を発表しました。子どもたちが夢の大花火を咲かせようと、その気になってがんばり瞳かがやくよう、学校・保護者・地域が応援団となっていきたいと思います。始業式での校長の話を掲載いたします。

① 令和4年度スタート

進級おめでとうございます。8名の先生方・校務員さんをお迎えして、令和4年度が始まりました。7日にはかわいい1年生15人のみなさんが入学して、86人の子どもたちと17人の先生方・校務員さん・用務員さん、103人でレベルアップを目指します。

② 今年の合い言葉

学校の目標は「かがやく瞳 思いやる瞳 たくましい瞳」です。お勉強や活動を楽しんで一生懸命がんばれる人になることをみんなで目指します。そのような人に成長するために大切にしたいことを「合い言葉」にしました。

「ホープ キープ 咲かせましょう 夢の大花火を 古四王キッズ」です。

まず、合い言葉に込めたメッセージを皆さんにお話しします。そして、願いを一つします。

③ 合い言葉に込めた意味

「ホープ」というのは、願うということです。「こんな人になりたい」「～ができるようになりたい」という願うことです。簡単に言うと、めあてを持つことです。「キープ」というのは「続ける」と言うことです。願うことは簡単です。願っても続けなければ、「なりたい自分」になることはできません。「できるようにになりたいこと」もできるようになりません。ホープ=願いをキープ=続けることが「なりたい自分」「できるようにになりたい」を実現してくれます。

④ 大花火はホープ キープの連続

ところで、みなさんこれはなんだかわかりますか。大花火の中です。花火の中には小さな花火が詰まっています。この小さな花火一粒作るのに1ヵ月以上がんばらなくてはならないそうです。この小さながんばりを一つ一つきれいに詰めて大花火が完成します。これがうまくできるようになるためには、10年の練習が必要だそうです。「できるようにになりたい。」というホープをキープしつづけて大きな目標、夢の大花火を咲かせましょう。



⑤ みんなで励まし合おう

次にホープをキープするために皆さんに一つお願いをします。

それは、ホープをキープするために励まし合おうということです。

2月にある子が「2重跳びが5回できるようにになりたい。」というホープを持って花火宣言しました。しかし、なかなかできませんでした。あきらめかけてキープできずにいたのを助けてくれた人がいました。「こんなふうによればいいよ。」「こうすればうまくいくよ。」「いいねえ。」と励ましてくれた人がいたのです。それは、4年生の池田叶吾さんでした。すごいでしょ。叶吾さんのお陰で、その子はできるようになったのです。小さな花火玉が完成したのでした。叶吾さんありがとうございました。

キープすることは簡単なことではありません。励ましが必要です。みんなで励まし合いましょ。そして、みんなで東大曲小学校、夢の大花火を咲かせましょう。瞳かがやく学校を創りましょ。

新学年に進級して

進級の喜び 6年 ○○○○

ぼくは、進級にあたり、最高学年として東大曲小学校をどんな学校にしていきたいのか、そしてそのためにどんなことができるか考えました。

一つ目は、進んで考えを出し合って、よりよい考えをつくる学校です。そのためには、授業に集中して、「聴き方のあいうえお」を守ってよく聞くことが大切です。そして、考えたことを分かりやすく話すために「話し方のかきくけこ」を使います。ぼくは、下級生の手本になるように、話し方や聴き方をレベルアップしていきたいです。

二つ目は、みんな仲良く明るく過ごす学校にすることです。そのためには、だれにでも自分からあいさつをすることが大切だと思います。また、学年をこえて協力し合って仕事をしたり、元気に遊んだりすることができるように、ぼくたち6年生が進んで声をかけていきたいと思えます。

ぼくたちひだまり学年は、たまには失敗をすることもあるかもしれませんが、全校のみなさんの力を借りながら、よりよい学校になるように、前向きに学校を引っ張っていきます。みなさん一緒にがんばりましょう。



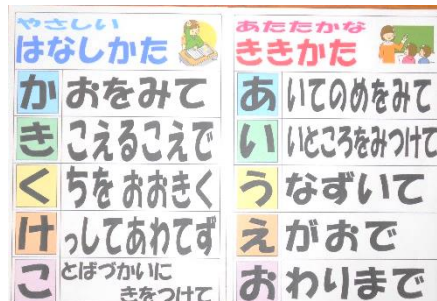
学びのスタートに ～学習のきまりを確認～

新学年での学習がスタートするこの時期に4年生・5年生・6年生が体育館に集まって学習のきまりを確認する会を行いました。

会は、研究主任の萩原先生が「ホープをキープするために、学習で大切にしたいことは『聴くこと』と『ていねいさ』です。」というお話からスタートしました。子どもたちに「どんなふうに聴くことが『あたたかい聴き方』になるのかな。」「ていねいにするのは『何をする』かな。」と問いかけながら、大切なことを具体化していきました。

「聴くこと」の具体は「聴き方のあいうえお」（右写真）であることを確認しました。「ていねい」については、子どもたちから「道具をそろえる」「次の時間の準備をして休み時間に」「文字をていねいに書く」「線は定規で引く」などの具体が挙げられました。

これらのことは、敢えて確認しなくても分かっていることかもしれませんが、確認することで「みんなですべて守って大切にすること」が共有されます。また、学び方の基準や目指すことが明確になり、すべきことが統一され、教室は落ち着いていきます。落ち着いて学習できる人的環境を整えて学習がスタートしていきます。



【教室掲示 話し方・聴き方あいうえお】

ご家庭にもきまりがあると思います。新学年スタートの時期、改めて確認してみたいかたがでしょうか。きまりがあつて、自由になれます。そして、一体感が生まれていきます。これは、学校も家庭も同じです。